

# 患者さんへ

## 「大阪早期膵癌プロジェクト」について

### はじめに

淀川キリスト教病院消化器内科では、大阪の病院および医師会の先生がたと協力して、少しでも早期に膵癌を発見する為の運動を行っております。内容については下記のとおりとなっております。尚、この研究についてご質問等ございましたら、最後に記載しております[問い合わせ窓口]までご連絡ください。

### 1. 研究概要および利用目的

以下の項目を目的として、膵癌ハイリスク患者さんを定期的に採血および各種画像検査などで経過観察します。

- 1 膵がんをより早期に診断し、切除率を向上させること。
- 2 大阪において医師会と総合病院が中心となり、都市型の多施設共同連携モデルを構築すること。
- 3 効率の良い膵がんの拾い上げと早期診断方法を模索し、提案すること。
- 4 プロジェクトの取り組みを通して、地域の消化器診療レベルの向上を目指し、ひいては地域住民の福祉に貢献すること。

### 2. 研究期間・対象

この研究は、2014年1月1日より2030年3月31日まで行う予定です。2011年1月1日より2030年3月31日までに参加施設で膵がん疑い、または膵がんにて診療された患者様を対象としています。

### 3. 取り扱うデータ

年齢、性別、受診経路、腹部症状、全身症状、喫煙歴、飲酒歴、膵がんの家族歴  
急性膵炎の既往、糖尿病の有無、糖尿病の発症時期、膵嚢胞性病変；有無、部位、最大径、結節の有無、高さ、主膵管拡張；有無、口径変化の有無、慢性膵炎；有無、膵石の有無、膵腫瘍性病変；有無、部位、最大径、単発・多発など

### 4. 個人情報保護の方法

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

### 5. 研究へのデータ提供による利益・不利益

利益・・・本研究にデータをご提供いただいた患者さん個人には特に利益と考えられるようなことはございません。

不利益・・・カルテからのデータ収集のみであるため、特にありません。

### 6. 研究終了後のデータの取り扱いについて

患者さんよりご提供いただきました試料・情報は、研究期間中は北野病院消化器センター内科において厳重に保管いたします。(保管期間は最長で5年間です。)

ただし、患者さんが本研究に関するデータ使用の取り止めを申出された場合には、申出の時点で本研究に関わる情報は復元不可能な状態で破棄いたします。

### 7. 研究成果の公表について

研究成果が学術目的のために論文や学会で公表されることがありますが、その場合も、患者さんの個人情報の秘密は厳重に守られますので、第三者に患者さんの個人情報明らかになることはありません。

### 8. 研究機関

この研究は以下の研究機関と責任者のもとで実施いたします。  
代表研究機関（主任研究者）

田附興風会医学研究所北野病院 消化器内科部長 八隅秀二郎  
協力研究機関（研究責任者）

北野病院 消化器内科 部長 八隅秀二郎、副部長 栗山勝利  
医員 東俊二郎、森田 敏広

淀川キリスト教病院消化器内科 部長 阿南隆洋、副部長 藤田光一、医長 梶川彩那

大阪府済生会中津病院 消化器内科部長 岡田明彦、副部長 江口孝明

大阪市立総合医療センター 消化器内科部長 根引浩子、医長 山崎智朗、杉森聖司

大阪赤十字病院 消化器内科副部長 浅田全範、医長 澤井勇悟

大阪市北区医師会、大淀医師会、東淀川区医師会、都島区医師会、天王寺区医師会、旭区医師会

#### 9. 試料・情報等の保存・管理責任者

この研究の試料や情報を保存・管理する責任者は以下のとおりです。

田附興風会医学研究所北野病院

主任研究者：消化器内科部長 八隅秀二郎

#### 10. 研究へのデータ使用の取り止めについて

いつでも可能です。取りやめを希望されたからといって、何ら不利益を受けることはありませんので、データを本研究に用いられたい場合には連絡ください。取り止めの希望を受けた場合、それ以降、患者さんのデータを本研究に用いることはありません。しかしながら、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合のように、結果を廃棄できない場合もあります。

淀川キリスト教病院 消化器内科 部長 阿南隆洋

淀川キリスト教病院 消化器内科 副部長 藤田光一

連絡先：0120-354-489（代表）